

キム神父さんとの再会

篠田 正司

1月16日の火曜日いつものようにミサに行きました。

10時半ギリギリに教会につくとソ神父さんともう一人神父さんがおられました。
珍しいこともあるもんだなと思っていたら、

その神父さんは、懐かしのキム神父さんでした。

ただただ、ビックリしました。
再開の握手をしてミサが始まりました。
とても懐かしいミサでした。

キム神父さんは韓国の青年たちの引率で
京都に來られました。



当初は火曜日の飛行機で韓国に帰国される予定でしたが、火曜日に唐崎でミサがあるのを思い出さして「久しぶりに皆さんに会いに行こう」と思って、急遽予定を変更して来てくださいました。

火曜日ミサの後は、いつもシスターの聖書勉強会をしているのですが、この日はキム神父さんを交えてお茶会をしました。



短い時間でしたが、
「ミサの言葉がかわっているね！」
「子供たちは大きくなったね！」
「日本語忘れちゃったよ！」
「皆さんおかわりないですね！」
「あの時はこんなことがあったね」

と楽しい時間を過ごすことができました。

キム神父さんは、コロナ真っ盛りの2019年12月に任期を終えて帰国されました。

当時は送別会など何もなく帰られたので、
当時を思い出して感謝の気持ちを伝えられたことは、
新年早々ととても大きなお恵みでした。

감사
합니다
カムサハムニダ

